



浅間山雪山山行報告

【山行日】2021年2月21(日) 快晴

【集 合】岩舟支所P AM 6:30

【費 用】マイカー2台 : 4,700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL関、石澤、福島、

【コースタイム】岩舟支所 P6:30＝高峰高原ホテル

P8:40/9:05～槍ヶ鞘 10:15/10:25～トミの頭

10:40～黒斑山 10:50/11:00～蛇骨岳 11:25/12:05

～黒斑山 12:30/12:40～トミの頭 12:50～

中コース分岐 13:00～高峰高原ホテル 13:40/14:00＝岩舟支所 P16:10

浅間山の山頂から白く筋を引いて流れる絶景を求め、黒斑山から蛇骨岳へ雪山山行を計画した。天気予報では気温22度と5月中旬の陽気で、晴れの予報になっていたが「てんきとくらす」の山頂付近の予報は風速26mと登山不適になっていた。天気図から見てそれほどの風は無いと判断し、

予定通り岩舟支所を出発する。北関東道から上信越度を進み、小諸ICで降り車坂峠に着く。高峰高原ホテルの駐車場に車を止め、きれいなトイレを使用させてもらう。予想通りの晴天で、出発の準備もルンルン気分ではかどる。アイゼンを持って登山口まで行き、ストレッチを行いアイゼンを付け、登山計画書をポストに入れ出発する。カラマツの明るい尾根を登り、右手には八ヶ岳連峰や蓼科山が望める。

車坂山を越え、一旦下ってからまた登り返す。

シラビソの樹林帯を登り、途中開けた場所で休憩し展望を楽しむ。水ノ塔山や籠ノ登山、四阿山等が望め、これから見られる浅間山の絶景に期待が膨らむ。しばらくは針葉樹林の中を登り、尾根通



しの道を忠実に進むと避難用シェルターがある。数名の登山者が休憩していたが、我々はそのまま進み槍ヶ鞘に出る。ここは最初のビューポイントで、眼前に大迫力で迫る浅間山の姿はこのコース最大のショーである。山頂から幾筋もの筋を引いて裾野へ流れるその姿は、なんとも美しい。デコポンや菓子を食べながら、ゆっくりと浅間の雄姿を楽しむ。ここから一旦下り、稜線上を北に向かって登る。登り着いた岩稜のピークがトミの頭で、ここからの展望も素晴らしい。東側

は外輪山の縁で切れ落ちているが、登山道は西側の樹林帯を巻いて登る。東側に浅間山の姿を見ながら登り、噴火観測のアンテナを過ぎると黒斑山山頂に着く。大勢の登山者が休憩し、山頂標柱前で浅間山をバックに記念写真を撮っていた。我々も順番を待って記念写真を撮る。

ここからの浅間山は素晴らしく S さんは「幸男さんが言った通りだね。こんな素晴らしい浅間山は初めて見た。来て良かった」と大喜びしていた。あまりに天気が良いので、蛇骨岳まで足を延ばすこと



にする。樹林帯の道を少し下ると、こちらはあまり人が歩いて無く雪が締まってない。樹林帯を抜けると、東側の切れた崖すれすれを通過し緊張する。さらに樹林帯を抜けると視界が開け、蛇骨岳の開けた岩稜に飛び出る。ここからの展望はさらに素晴らしく、東側に浅間山はもちろん仙人岳から鋸岳、湯の平の雪原が素晴らしい。西から北側には湯の丸山から四阿山、草津白根山や谷川連峰まで見渡せる。絶景を見ながらランチタイムとし、各自持参したおにぎりやスープと、し

もつかれやレンコンの煮つけをいただく。周りを見渡すと大勢の登山者がランチタイムを取っていて、皆考えることは一緒だと思った。ランチが済んだら往路を戻り、黒斑山で小休止。相変わらず大勢の登山者で賑わっているので、直ぐにトーミの頭に向かう。トーミの頭で浅間山の雄姿を見納め、中コース分岐から右に下って車坂峠に向かう。樹林帯の道は積雪も多く、雪も締まっていて歩き易い。途中の開けた場所で休憩し、高峰山から水ノ塔山を眺めて伊予柑をいただく。そこからも軽快に下り、登山口に着いたらアイゼンを外す。道路を渡ると高峰高原ホテルに着き、靴を履き替えたらトイレを済ませて帰路につく。途中、上信越道横川 SA で買い物し、予定通り岩舟支所に帰着した。